



真言宗 豊山派 佐渡支所だより

題字 池田英雅

第13号

平成二十九年十一月一日発行

真言宗豊山派 発行責任者 池田 英雅
佐渡宗務支所 編集委員長 加藤 龍久

発行所
新潟県佐渡市新穂大野一二四-1
清水寺中
真言宗豊山派佐渡宗務支所

「慈」から「雅」へ

真言宗豊山派 佐渡宗務支所 支所長 池田 英雅



池田英雅 支所長

「人は異性に『愛』を伝える時、どのような方法を取るのだろうか？」

一番手っ取り早いのは言葉で伝えることだろう。言葉使いに注意し、相手にうまく伝わるよう美辞麗句を配し丁寧に話す。でも、ぶつきらぼうに自分の素直な言葉で表現する方がうまく伝わることもあるし、好感を持たれる場合も…

文章に起こし手紙にして渡す。最近ではワープロソフトで作成する人もいるだろうし、機械的な書面では気持ち伝わりづらいので稚拙な字体でも自分で筆字で書く…そんな人もいるだろう。和歌、詩文、あるいは歌を楽曲にし録音して送る、ビデオレターetc言葉で伝える方法以外にも幾通りの方法が考えられるし恋愛の達人の私でさえ、どの方法がベストか決めかねる。

布教の方法も多種多様。法話、座禅、お遍路、ご詠歌、写経etc法要後の会食の席でお酒を飲みながらの会話―これが一番良い布教方法だというお坊さんもある。皆様の菩提寺のご住職様方も何らかの方法を選択して工夫しているのではないだろうか。それは檀信徒の皆様にも少しでも『仏の教え』の素晴らしさを理解していただきたいと思う『慈しむ心』があるからであろう。

自分の気持ちを分かちてもらえるには、相手のことを思いやる『慈しむ心』が大切であり、これが仏教で言う所の『愛』である(愛欲ではなく慈愛)とあるお坊さんが仰っていた。そして『慈愛』が『優雅』なる密厳仏国土を築くと…

ということでもわりと自己紹介になります。前支所長、山本憲慈僧正より引き継ぎ、今年度より支所長に就任いたしました。池田英雅と申します。写真のとおり『優雅』なビジュアル以外、自慢できることはございませんが『慈愛』の精神を忘れず、努力する所存です。ご指導、何卒よろしく願いたします。

『現代の僧侶が抱える危機・人口減少社会の中で』参加報告

真言宗豊山派 佐渡宗務支所 布教長 加藤 龍久

「檀信徒総代会」が平成二十九年七月一日(土) 畑野農村環境改善センターで開催されました。平成二十八年十二月五日(月)豊山派宗務所で開催された、標記の豊山派シンポジウムに出席した佐渡宗務支所副所長、平井英昭様の報告がありました。「消える寺、変わらぬ供養の心」と題して日経BP社記者、京都・正覚寺副住職、鶴飼秀徳先生のご講演内容です。その時の資料から佐渡の現状に合致する重要点のみを紹介します。

今、お寺に起きていること

①都市部への人口の流出、地方都市の疲弊によって、地域のお寺が支えられなくなっている。経済的背景も寺院環境に大きく影響。第一次産業の衰退が密接に影響。

②地方都市の寺院の空き寺化(兼務寺院化)が進む。日本には七七、〇〇カ寺が存在するが、推定では二〇、〇〇〇カ寺が既に空き寺。

③二〇四〇年までにさらに一〇、〇〇〇カ寺程度が空き寺になる見通し。日本創成会議が発表した「消滅可能性都市」八九六市町村のリストによる。このまま大都市圏への人口流失が止まらず、若年女性の減少などが進めば、二〇四〇年には全国の自治体の49.8%が消滅する可能性がある」と指摘している。*佐渡も消滅可能性都市に該当しています。

④こうした消滅可能性都市には、多くの宗教法人が点在している。全一七六、六七〇法人のうち約35.6%にあたる六二、九七一法人が「消滅可能性」にあることが判明。

*人口が減少していく日本において、佐渡でも一年間に約一、〇〇〇人ずつ人口が減少しています。(佐渡市の高齢化率41.3%)人口減少社会の中で、寺院も消滅の危機が迫っています。寺院の総代様、お檀家様、住職が智慧を絞って寺院の存続の方策を、そして地域住民全体で佐渡の十年先を、二十年先を考えなければなりません。

真言宗豊山派佐渡宗務支所新役員紹介

支所長	支所下一番新穂大野	清水寺	池田英雅
支所副長	支所下二十三番相川橋	定福寺	平井英昭
布教長	支所下十三番新穂長畝	東光院	加藤龍久
書記	支所下六十五番月布施	観音寺	小野法龍

仏教青年会会長

支所下七十四番(両津浦川)文殊院副 中浜照文

仏教婦人会支部長

(任期：平成三十一年三月三十一日迄)
支所下六十番加茂歌代 聖徳寺中 山岸 眞知子
(任期：平成三十年三月三十一日迄)

※皆様のご支援の程、よろしくお願いいたします。

全国檀信徒総代会に参加して

支所下百番 極楽寺総代 後藤 武

平成二十九年五月二十三・二十四日、東京都文京区の本本山護国寺境内にあります、真言宗豊山派宗務所で開催された標記会議に参加しました。全国から豊山派の檀信徒四十七名が参加、新潟県は越後三名、佐渡は私、計四名参加しました。

一日目は大正大学名誉教授、埼玉県大王寺住職、高橋尚夫先生の「生死輪廻図と涅槃図」の講話を受け、そして分かったことはチベットは五道輪廻で、日本が六道輪廻であることでした。その後護国寺観音堂へ向い参拝。夕方からリーガルロイヤルホテル東京の懇親会では、福島、新潟の総代、陶山教化部長をまじえ、どの地域の寺院も維持することが大変だと知りました。

二日目は宗務所大講堂で第六十九次檀信徒総代協議会が行われ、田代弘興管長から新任議員に御袈裟が授けられ、お言葉を賜った後、宗派各部長、及び総本山長谷寺の今年度の施政方針と各地区からの現状と課題が提出されました。各部とも布教・教化活動に努めておられることに深く感心致しました。本総会に参加できたことに感謝致し、ご報告いたします。

『平泉保育園紙芝居実演』実施報告

支所下六十一番 正覚寺住職(前布教長) 大場 憲栄



平成二十八年度のボランティア事業として、二十八年十一月二十六日(土)に佐渡市泉の「平泉保育園」において、幼児への命の大切さや優しい心の育成を目的に、仏教関連等を題材にした紙芝居四点の読み聞かせを実施しました。

当日は、園児や保育士さん二十三名に参加いただき、教師四名と新潟紙芝居クラブ会員一名で実演しました。終了後、「また来てね」の可愛い声に見送られ平泉保育園を後にしました。

「民話を聞く会」に参加して

支所下六十番 聖徳寺庭婦人 仏婦佐渡支部長 山岸 眞知子

佐渡支所教師研修会(平成二十九年二月十八日)に参加させていただき、佐渡市梅津在住の日野敏子さんによる民話(艶話)を拝聴いたしました。

艶話は古くから全国各地で語り継がれ、佐渡にもそれは受け継がれており挿絵入りの小冊子を拝見させてもらいました。

講師の日野さんは宮城県出身で、その東北訛りで語られる物語は素朴でユーモラスなことで、愉快で楽しい講演でした。

人の性はある意味全ての原点で不変です。その表現次第で開放的な大らかなものになると実感いたしましたし、それは仏の教えにも通ずると思うのは無理がありませんか? おふざけではなく考えさせられる一面がありました。



民話語り部 日野敏子氏

仏教婦人会六十周年を迎え

昭和三十一年創設された真言宗豊山派仏教婦人会は本年六十周年を迎えることとなりました。佐渡支部は昭和四十六年十二月十二日、長谷寺家庭婦人、富田フミ様を初代支部長に発足しました。

以来、弘法大師千五十年、興教大師八百五十年、遠忌行事参加、ご詠歌講習会、全国研詠奉詠会参加、佐渡八十八ヶ所・七福神巡り、総本山長谷寺研修旅行等の活動を行い、最近では佐渡島の環境浄化のためのEM菌作りといった社会貢献活動にも取り組んでいます。

本部仏教婦人会の創立三十、四十、五十年記念式典に佐渡支部としても参加しました。この度六十周年を迎え佐渡支部のあゆみを顧みるにあたり、佐渡支部諸先輩方の残した記録を読み返し、会の歴史に改めて触れる機会を得ました。

会員数の減少等、様々な問題もありますが、会員皆の力を合わせて継続発展に励みたいと思います。

(真言宗豊山派仏教婦人会発行『水晶』合本第四号「山岸真知子支部長寄稿文抜粋」)

第四十一回青少年研修会

夏休み突入前の平成二十九年七月二十二・二十三日、支所下七十四番、浦川、文殊院道場において第四十一回青少年研修会を開催。

二日目は雨に見舞われ(佐渡に記録的大雨が降った前日)予定していたプログラムを変更しながらも十五名の研修生は無事終了証を授与。

遊び(花火、海水浴等)のプログラムよりも座禅、勤行、法の灯火などで一所懸命に取り組む姿も。研修生の感想文には、また来年も参加したいの声がちらほらと：今回は大人の方が行儀が悪かった???

See you next again

Buddhist children



仏青会長に就任して

支所下七十四番 文殊院副住職 中浜 照文



中浜照文 仏青会長

平成二十九年四月一日より佐渡仏教青年会会長に就任いたしました。これまで仏青の活動には参加していましたが、私が会長に就任して良いのか半信半疑でした。半年が過ぎ皆様のお力添えにより、無事、行事等を行ってこれました。

これからも会員皆様が幸せで笑いのたえない楽しい会にしていきたいと思っています。是非とも気軽に活動に参加していただければ幸いです。

今後とも皆様のご協力、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

青少年研修会作文

加茂小学校五年 高山 真來

私が思い出に残っている事は「法の灯火」です。廊下以外が暗くてすぐきんちようしました。最後にローソクが消える時に、自分が持つて来たローソクはどれか探しました。きんちようしたけど、すごく思い出に残りました。

一番楽しかったのは「夜」です。私は十時くらいまで友達としゃべっていました。それが一番楽しかったです。あと、花火もすごくたくさん種類があり、今までやったことのないぐらいの数があって楽しかったです。

一番きつかったのが、法楽をする時にずっと正座をしていたので疲れました。でも、少しずつお経が頭の中に入ってきました。

ご飯もすごくおいしく、一番おいしかったのはカレーです。すごく甘くておいしかったです。たくさん楽しかったことがあったので、また来年も参加したいです。そしてもっと楽しいことをふやして、たくさん色々なことを学びたいです。

寺院探訪

佐渡宗務支所下三番 北豊山 長谷寺

佐渡市長谷 住職 富田 寶元



観音堂(十一面観音安置)

長谷寺は佐渡市長谷にあり、山内は堂塔伽藍の配置を含め真言宗豊山派の本山である大和の初瀬(はつせ、奈良県)の長谷寺を模して築いたお寺と言われます。

創建は大同二年(八〇七)弘法大師の開基と伝えられ、大和の本山同様、観音の霊地として知られています。

寺宝の十一面観世音菩薩は弘法大師の作と伝えられ、国の重要文化財に指定されています。また、この仏像は古来から秘仏とされ、三十三年毎に一回開扉することになっています。

当寺は一年を通じて「花の絶えない安らぎの寺」として知られています。



十一面観世音菩薩



ぼたん

(平成30年のぼたんまつり5月12・13日)

佐渡宗務支所下四十二番 歌代山 安照寺

佐渡市春日 住職 梶井 照雄

◎歌代城主、渋谷氏の祈願寺 寺域は鬼門の方位に

当寺は正しくは、歌代山心王院安照寺と称し、「歌代山」の山号は加茂歌代の歌代。明治十年に加茂村、歌代村の両村が合併して加茂歌代になるまで二つの村があったので、そのため広域なのです。

明和八年(一七七二)の当寺の天満宮縁起には、室町十一代將軍足利義澄の頃、加茂の地頭渋谷十郎左衛門真清の名代として上洛した舎弟の直正は將軍に拝謁、この時歌一首を詠んだ賞として加茂の領地のうち三分の一を賜り帰国した。文龜二年(一五〇二)のことです。

歌の代わりに賜ったこの地を「歌代」と名づけ一寺を建立、天神さんを祀ったという。直正が歌を詠めたのも、日頃天神さんを篤く信奉していたおかげなのです。寺紋が天神さんの梅鉢紋であるのもそのため。お寺は歌代城主渋谷氏のご祈禱寺として城内(河内)から見て北東、鬼門の方位(歌代領内の夷町境)に置かれたのです。



安照寺本堂(文政5年の建立)

唯一の宝物に明和四年(一七六七)の「弘法大師一代記御絵伝」四幅を所蔵、檀家の廻船業、磯野与次右衛門が高野山参拝のおり買い求めて寄進したものです。絵師は高野山往生院住、前岡如水の手になるものです。

見所は大相撲佐渡ヶ嶽部屋(元祖、佐渡ヶ嶽猪之助)の生家、佐藤長兵衛家の菩提寺であり、佐渡の相撲寺として過去帳等の資料が残っています。(佐渡百選)境内には昭和六年に始まりをもつ佐渡一國遍路霊場の開創記念碑があります。明治後期に北海道小樽に進出、農場等を経営しプロレタリア作家、小林多喜二の小説『不在地主』のモデルになった夷町磯野善兵衛家の大きなお墓や歌舞伎俳優、尾上松也の祖母(母方)の生家、磯野嘉右衛門家のお墓があります。時代の要請に応じ永代供養廟「心王苑」も開設。両津の玄関口にあり、地域に開けたお寺として、街のあゆみやお寺の写真の常設展示を行っています。近くにお越しの際は、是非、お立ち寄り下さい。



弘法大師一代記御絵伝 明和4年、250年前のもの